

令和4年度第1回鹿児島市DX推進委員会 概要

- 日時：令和4年7月28日（木） 9：30～10：30  
 場所：鹿児島市役所 東別館11階 1102会議室  
 出席者：（推進委員会委員）出席7名、欠席3名 ※別紙のとおり  
 （事務局）総務部長、デジタル戦略推進課長、CIO補佐官、ほか2名  
 会次第：1 開会  
 2 協議事項  
 ・鹿児島市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画  
 （第五次鹿児島市地域情報化計画）の具体策について  
 3 その他  
 ・マイナンバーカードの普及促進について  
 4 閉会

議事概要：以下のとおり

発言者	発言内容
<p>【会次第2協議事項】鹿児島市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画                      （第五次鹿児島市地域情報化計画）の具体策について</p>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>「資料1」「資料2」に基づき説明</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">協議内容・質疑等</div>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXの推進に当たって情報セキュリティ対策を徹底することは大変重要。庁内での監査等はしっかりされていると思うが、安全に使えることの対外的なPRも必要と考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画にWi-Fi整備があるが、デジタル化社会を実現するためには、災害時を含めどんな状況でもネットワークに接続し、利用できることが望ましい。市役所は庁舎においても整備されていない状況。すべてとは言わないが公民館等施設への整備促進も必要である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備状況の公開はされているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状としては36施設、観光施設を主体とし整備してきたところ。今年度は教育の観点もあり、サンエールを含め2施設で整備を進めている。整備施設の拡充については、引き続き進めていく。なお、観光施設のフリーWi-Fiについては市HPにも公開しているところ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>新計画では施策ごとの区分けがわかりやすくなっている。</li> <li>地域社会のデジタル化にあたり、多くの人がデジタルを使える通信環境にある状況が必要。今回の計画では指標等が無いが、引き続き進めてほしい。</li> <li>町内会の回覧板の電子化の可能性はないか。</li> <li>とはいえっても高齢者のICTリテラシーの現状もあると思う。デジタルデバイス対策や教育は引き続き実施してほしい。</li> </ul>

発言者	発言内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション等があり地域のつながりの希薄化もある。回覧板の電子化については、他の自治体の取組を参考にしているかどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の回覧板電子化については関係課にて有用性を調査中と確認している。</li> <li>・高齢者のICTリテラシー向上については、スマートフォン講習会のレベル感から実施しているところ。</li> <li>・高齢者のデジタルやセキュリティに対する不安等は、市政出前トーク等でも感じているところ。丁寧に説明する必要があると感じている。</li> <li>・通信環境について、本市の光ブロードバンドの提供可能域は、完全に100%ではないが、市民居住のある地区はほぼ全域カバーできている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネクストかごりんについて、いままでのかごりんからどのように変わるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かごりんには、観光客や市民利用などいろいろな利用の在り方がある。現行のかごりんについて、年齢や性別等の利用者属性の分析はなされているか。必要な場合、利用者アンケート等も実施すべきではないか。運用を見直すには、いい時期だと考える。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネクストかごりんでは現行の機器等を入れ替え、アプリでの利用を基本とし、キャッシュレス決済とすることで、ランニングコストを下げると把握している。</li> <li>・利用者の分析については、ポートごとの利用情報等はあるものと思われるが、年齢・性別等についてまでのものはないものと思われる。今後はアプリ利用により、現状よりも情報収集のレベルは上がり、分析等にも有用なものと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済の推進は時代の流れに沿うものと思うが、一方で、高齢者など、現金で決済にしか慣れていない層もいることも確か。市の窓口で、どのような支払いにどのようなキャッシュレス決済が利用できるか、または現金払いができるか、公表されているか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かごりんは現金回収の手間もありキャッシュレス決済導入の意義があるが、窓口での支払いでは現金決済という方法も残した方がよいと考える。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現金決済に加えキャッシュレス決済もつかえる窓口や施設については、窓口ごとに使える決済方法を掲示しており、また、どの手続きにキャッシュレス決済が使えますという情報提供もおこなっている。住民票や税の窓口等ではキャッシュレス決済にも対応しているところだが、現金決済にしか対応できていない窓口もまだ多くあるところ。</li> </ul>

発言者	発言内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所の申請について、印鑑の使用は段階的になくしていく方向か。印鑑証明等あるのでいきなりなくすことはないと思うが。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民向けの手続き、庁内手続きともに、押印については減らしてきている状況。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXと名前を改め新しい計画を策定したが、具体策の一覧をながめると、DXのレベル感に達していない、デジタイゼーション・デジタルイゼーションにあたるものも多くあるように感じた。</li> <li>本市のデジタル化の進捗状況を見るとそれぞれが必要な取り組みであり、行政の現状として理解はするが、DXと呼べる、もう一段階上の取組がわかりやすいように、重点を置いた取組を示し、メッセージとして住民に示せるといいし、この委員会でも議論もしやすいかと思う。メリハリのある取組や見せ方を期待したい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘のとおり、さまざまなレベル感の課題が混在する状況。データの蓄積、課題の見える化、分析してPDCAサイクルを回していくための材料となるデジタル化の部分も進めていき、DXに至る取組にもっていけるよう、戦略的に取り組んでいきたい。現時点としてはマイナンバーカードを活用した情報管理、利便性向上が一大テーマとしてある。DXにより市政や市全体を豊かに、効果的、効率的な状態になるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化の現状については理解する。たとえばマイナンバーカードを活用した利用者分析を、例えばかごりんについて進めていくとしたら、DXといえる取組になっていくのではという期待感がある。一方で、個人情報の取り扱いに恐怖感を覚える人がいるのも事実。バランスを取りながらDXを進めていく必要がある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の扱い方についても、利用の程度の考慮と、安心して制度を利用いただける体制やPRが必要と考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通局のデジタルサイネージについて、天文館に設置予定とのことだが、取組を広げていく予定はないか。なぜ天文館だけで、中央駅にはないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置及び維持管理のコストを考慮し、部分的な設置を行い、観光上の意義や利用者の多い天文館に設置するものと考えている。</li> <li>中央駅についても観光上の役割の大きさは一致しているが、構内の観光案内等が設置されている状況等の考慮し、設置位置を検討したものと考えている。</li> </ul>

## 【別紙】

## 令和4年度第1回鹿児島市DX推進委員名簿

	役職	氏名	所属		備考
1	委員長	モリ クニヒロ 森 邦彦	鹿児島大学 情報基盤統括センター	副センター長	
2	副委員長	キド ヒデユキ 城戸 秀之	鹿児島大学法文学部	教授	
3	委員	アサイ ミナミ 浅井 南	公募委員		欠席
4	委員	イケダ タケヒサ 池田 武尚	公募委員		
5	委員	カガワ アサミ 香川 麻美	KCS鹿児島情報専門学校	講師	
6	委員	タナカ ミキヤ 田中 幹也	日本政策投資銀行南九州支店	次長兼企画調査課長	
7	委員	トミタ タカコ 富田 貴子	特定非営利活動法人 鹿児島インファーマーシオン	会員	欠席
8	委員	フキドメ ヒロミ 吹留 博実	株式会社鹿児島TLO	代表取締役	
9	委員	マツモト 松元 まや	一般社団法人 鹿児島県情報サービス産業協会	理事	
10	委員	ミツエダ ショウコ 三枝 祥子	公益財団法人 かごしま産業支援センター	鹿児島県よろず支援拠 点コーディネーター	欠席